



2017年12月 南アフリカ新聞第5号

SABONA

ニサボナ（こんにちは） 鈴木 壮太

12月になり、冬休みが近づいてきましたね。冬休みといえばクリスマスにお正月！わくわくしていますか？

まずは期末テストを頑張りましょう。

一方南アでは夏休みが始まりましたが、これまでの約4ヶ月間学校で働いてみて、驚いたことをまとめました。日本と比べながら読んでみてください。

驚いたこと1

真っ暗



見ての通り、授業中なのに教室の中は真っ暗。教室に電気があるのに、なぜつけないのでしょうか。聞いてみると、「電気をつけると暑い！」とのこと。しかし、教室の中は太陽の光だけでも意外と明るい。

驚いたこと2

休けい



授業中の様子。担任の先生はどこにいますか？授業中なのにどこにもいません。私のいる学校では、先生が疲れたと感じたら授業をしないことがよくあります。児童に自習をするように伝え、先生は庭の木陰で休んだり、みかんを食べたり。毎日のように長い自習時間があるクラスも…。

驚いたこと3

向き



ノートの向きに注目してください。ノートを縦に置いているのがわかりますか？小さな机を3人で使うため、1人分のスペースが狭く、横に置きにくいのです。書くときの正しい姿勢を学校で教わらないことも原因の1つかもしれません。大人でもこのような書き方の人をよく見かけます。

驚いたこと4

牛



登校しているときの写真です。大きな牛がモーモー鳴きながら前を横切っていきます。子どもたちは何も気にせず歩いていますが、私は牛がこっちに来るのではないかとビクビクしながら歩いています。

驚いたこと5

時間



中にはこんな時計も…。

学校にある時計は全て止まっています。（みんな普段の生活で時間を気にしない。）そのため、授業の始まりと終わりはベルが合図です。（しかしそのベルも時間通りでない…。）そのため、「今から10分間で〇〇しましょう。」などの時間の指示ができません。日本の学校は時間で動きますが、こちらでは雰囲気（ぶんいき）で動きます。

それではみなさん、冬休みを楽しんでください。私もまた新しい発見をして報告します。